



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2018 9 月号
Vol.91

毎月1回発行(通巻91号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 http://www.jmmpa.jp/

第7回札幌大会 基調講演登壇

全国自治体病院協議会会長・小熊豊氏に聞く
医療経営士に求められる新たな使命と役割

プロとしての問題意識が 地域貢献の原動力となる

10月20(土)・21日(日)に北海道札幌市で開催される第7回「全国医療経営士実践研究大会」札幌大会。その基調講演において「病院リーダーの挑戦と創造とは? — 新しい地域医療の構築を目指して」をテーマにご講演いただく全国自治体病院協議会会長の小熊豊氏に、医療経営士に向けた期待のメッセージをいただいた。

慣例や常識に縛られない
挑戦する姿勢が大切

医療経営士の方々に一番お伝えしたいのは、厳しい医療情勢のなかで、自院が地域においてどのような役割を果たすべきかを改めて考えてほしいということです。やはり、病院は、地域住民に「この病院があってよかった」と思われることが第一です。そのため、これまでの慣例や常識をただ踏襲するのではなく、常に新しいことにチャレンジしていく必要があると思います。

砂川市立病院では、公立病院が陥りがちな「お役所感覚」から脱却し、いかに地域に貢献できるかについて、試行錯誤を重ねてきました。たとえば、当院が運営する北海道砂川市内の医

療機関や介護事業所等で医療情報を共有する「砂川のみもりんく」、同じ医療圏の自治体病院間でデータ等の医療情報を共有する「そら・ねっと」といった地域医療連携ネットワークシステムは当院の地域医療連携の職員が発案者となり、地域の協力を募って実現しました。さらに、増収や医療の質向上を目的とし、多職種によるワーキンググループを通じて診療報酬の指導料や加算算定に取り組む「Z-Project」も、収支の悪化に危機感を抱いた事務職員が他部門へ呼びかけて始めたものです。

これらは日常業務をベースとしています。プロとして問題意識を持って挑戦したことによる成果です。ぜひ、医療経営士の方々も院内や地域のニーズをしっ

かりと把握し、積極的にアイデアを提案してほしいと思います。

地域にどう貢献するか
そのヒントを得る大会へ

新専門医制度や医師の働き方改革など、医療を取り巻く環境は変革の只中にあります。特に働き方改革が推進されるなかで医師がサラーマン化し、患者の命より自分の生活を優先して考えてしまうのではないかと

と危機感を抱いています。医師という職種の特殊性を考慮せず、働き方の議論のみとらわれ、肝心の「医師の心」が置き去りにされてしまっている本末転倒です。

札幌大会では、医療経営士の方々が、さまざまな課題に目を向け、それぞれの専門性を発揮し、どうしたら病院が一体となって地域に貢献していけるかを考える機会となるよう願っています。



小熊豊 (おぐま・ゆたか)

公益社団法人全国自治体病院協議会会長
/砂川市立病院名誉院長

第7回札幌大会 主な講演内容

- 1日目(10月20日[土])**
- 13:25 ~ 14:25
【基調講演】
「病院リーダーの挑戦と創造とは? — 新しい地域医療の構築を目指して」
小熊 豊氏
(公益社団法人全国自治体病院協議会会長 / 砂川市立病院名誉院長)
 - 14:35 ~ 16:35
【医療経営士 特別講演1~3】
草野真暢氏
(北海道文教大学人間科学部理学療法学科教授)
 - 柴田和典氏
(武田薬品工業株式会社ジャパンファーマ
ビジネスユニット営業戦略部 主席部員)
 - 眞田心哉氏
(千葉興業銀行法人戦略部コンサルタント支援室
部長代理【医療担当】)
- 2日目(10月21日[日])**
- 15:00 ~ 16:00
【特別対談】
「新時代を切り拓く地域医療連携成功のカギ」
大川原淳氏
(医療法人社団医修会理事長)
 - 川淵孝一氏
(東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授)

第7回 全国医療経営士実践研究大会 札幌大会

いまなら事前参加登録料金
参加エントリーを受付中!

2018年
開催日時
10月20日 土
10月21日 日

新時代を切り拓く 医療経営士の挑戦と創造

— “顔”と“想い”の見える連携づくりを目指して

大会参加料金を大幅引き下げ
より参加しやすくなりました!

- 事前参加登録料金 (税込)
- 両日: 9,000円
- 1日: 5,000円
- ※会員価格
- ※懇親会は別途5,000円

会場 札幌ビューホテル大通公園 札幌市中央区大通西8丁目

大会運営委員長 田中繁道 浜仁会グループ最高責任者 / 医療法人浜仁会理事長 / 日本医療経営実践協会北海道支部支部長

第7回札幌大会【医療経営士 特別講演】登壇者からのメッセージ

皆の知見を持ち寄り、実りある大会へ

臨床医と医療経営士の経験を
医学教育に活かす試みくさのまさのぶ
草野真暢氏北海道文教大学
人間科学部理学療法学科教授

外科臨床医として勤務していた小樽協会病院は、2009年にDPC対象病院になりました。このことが契機となり、私は診療情報管理士と医療経営士の資格を取得しました。2012年からの3年間は、薬事委員長として採用薬見直しや薬事業務改善に取り組み、それはまさに全体最適を追求するプロセスでした。

2015年から勤務している北海道文教大学では、「医学概論」「保健福祉政策論」などの授業を担当しています。保健管理センター副センター長として、大学における防煙教育、医療系学科の学生を対象とするワクチン集団接種のシステム導入などにも取り組んでいます。

医療現場は各自の専門分野に関心が向くことで縦割りになりがちです。医療経営士はそれぞれの現場を横につなぐ橋渡しの役を担うべきであると考えます。講演では、医療経営士である臨床医として携わったいくつかの取り組みと、その経験や医療経営士だからこそ持ちうる視点を医学教育に活かす試みについて紹介します。

最適な医療の提供に向けて
MRの新たな可能性を示すしばたかずのり
柴田和典氏武田薬品工業株式会社
ジャパンファーマビジネスイニシア
営業戦略部 主席部長

製薬企業のビジネスは、医療機関を通じて患者さんに必要とされる最適な薬剤を提供することです。

顧客インターフェイスに関してはMRや各種ツールなどさまざまですが、地域毎に生じている状況をより正確に把握するためには、各地域をマネジメントする者が医療機関に所属する関係者と同等レベルの知識を持って対応することが最低限求められます。

武田薬品では地域毎の医療環境を理解し、今後の変化を想定するため、2014年からマネジメント層に医療経営士が持つレベルの知識やスキルを充足させる取り組みを始めました。この対応により、昨今の各地域における医療情勢をより正確に把握することが可能となり、医療関係者とのコミュニケーションの質に変化が見られるようになってきました。

今後も、常に患者さんのことを中心に考え、医療関係者が最適な医療を提供できるサポートをしていきます。

さまざまな得意分野を持つ
事業者との連携事例を紹介したいさなだしんや
眞田心哉氏千葉興業銀行
法人戦略部コンサルタント支援室
部長代理【医療担当】

銀行の伝統的業務は「円滑な資金供給」ですが、顧客ニーズは多様化しています。むしろ、設備投資などの資金需要が伸び悩み、わずかな実需に数多くの銀行が殺到する状況では、ニーズは「融資以外」にあると言えます。

たとえば、次世代への承継や相続対策といった事業オーナーの悩みに寄り添うこと、診療報酬・介護報酬改定など政策の方向性に沿った事業プランへの協力、医療機関事務部門の生産性向上につながる情報提供、地域の医療介護事業者による地方創生の取り組み支援、外国人技能実習生制度の活用支援など、多岐にわたるご要望をいただきます。

銀行の限られたリソースだけではそうした要望に応えられません。さまざまな得意分野や事業領域を持つ事業者と「連携」することで多様なニーズに応えることが可能となります。大会ではこれまでの連携事例をご紹介します。

支部NEWS

関東支部

第16回神奈川研究会

関東支部支部長・安藤高夫氏が講演！
医療経営士に期待される役割を示す自院のことを自院で守る
気構えを持ってほしい

関東支部は7月23日(月)、第16回神奈川研究会を開催。支部長の安藤高夫氏(医療法人社団永生会理事長、衆議院議員)が講師を務め、「これからの地域包括ケアの形と医療経営士に求める役割」をテーマに講演しました。

安藤氏は永生会の経営戦略や、地域医療構想と地域包括ケアシステムの現状および将来像などについて解説したあと、医療機関の経営が厳しくなるなかでの医療経営士の役割について言及。「外部環境である『医療政策の流れ』と内部環境であ

る『経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)』をマネジメントしていくことが期待される」と強調しました。

このうち、ヒトのマネジメントに関する話題の1つとして、タスクシェアリングとタスクシフティングを挙げ、「医師の働き方改革に向けて、タスクシェアリングとタスクシフティングが話題になっているが、足りないのは医師だけではない。これからはどの職種においても、何でもありの総力戦時代になる。誰がどんな役割を担うことができるのか、しっかり見極めて分担していくことが大事」と話しました。

また、総力戦時代に向けて、経営マイ

ドを持った医療スタッフを養成していくのも医療経営士の役割であると指摘し、「周囲を巻き込みながら、経営マインドの醸成にも貢献してほしい。自院のことを自院で守る気構えが必要」とエールを送りました。



平日夜の開催にもかかわらず、県内外から多くの医療経営士や病院関係者が参加した

『医療経営士初級テキスト』5年振りの全8巻同時改訂!

編著者に聞く、テキスト改訂のポイント

第1弾

「通史」の縦糸から過去を学び、未来に活かす知識×思考力を得る

初級2『日本の医療政策と地域医療システム』第4版

尾形 裕也 おがた・ひろや



東京大学工学部・経済学部卒業。1978年厚生省入省。厚生省各局、OECD 事務局(パリ)、在ジュネーブ日本政府代表部、千葉市環境衛生局長、国立社会保障・人口問題研究所研究部長等を経て、2001年より九州大学大学院医学研究科医療経営・管理学講座教授、2013年より東京大学政策ビジョン研究センター特任教授を歴任。九州大学名誉教授。

本書の改訂第3版が出版されたのは、2016年末でした。近年の大きな医療制度改革の多くは、06年のいわゆる医療制度改革以降、16年末までの時点でほぼ出揃っていたといえ、改訂第3版は、現行制度の基本的な領域をほぼカバーしていました。

したがって、第4版の基本的な改訂の指針は、統計データの更新や、やや古くなった記述を新しいものに改めるといった小幅な修正に留まっています。そうした中で、新たな介護保険施設である「介護医療院」について

では、17年に医療法改正が実現し、18年4月から実施に移されていることから、大幅な加筆を行っています。

本書は、医療経営士3級レベルの方が理解しておくべきわが国の医療政策と地域の医療システムのあり方についての概論です。医療機関の経営を考えるとき、医療政策の動向や地域の医療(介護)提供体制がどのようになっているかという「外部環境」を的確に把握しておくことは、必須の前提条件となります。特に、近年では、「地域医療構想」という形で、地域にお

ける医療提供体制の将来像が示されており、これを十分理解しておく必要があります。

地域医療構想は、消費税増税や「2025年ビジョン」といった近年の国の大きな政策の流れの中からは出てきたものです。本書を十分に読み込むことによって、こうした国の政策の大きな流れと、その中で地域の医療のあり方、さらにはこれらを踏まえた自院の経営戦略というように、マクロレベルからミクロレベルに至るさまざまな問題を構造的に把握していただきたいと思えます。

マクロレベルからミクロレベルに至るさまざまな問題を構造的に把握する

初級1『医療経営史』第3版

浅野 信久 あさの・のぶひさ 【第5章執筆】



1983年、筑波大学大学院医学研究科修了。シンクタンク等で医療制度や医薬品・医療機器等の産業領域の調査研究に従事。2001年、筑波大学大学院医学研究科修了。社会医学分野で博士(医学)取得。東京大学大学院客員研究員(公衆衛生学教室)として、国内外の医療制度や経営モデルを調査研究。『医療白書』(日本医療企画)などに、デジタルヘルス、AI、ロボット、働き方改革などに関するレポートを寄稿。

改訂第3版では、2013年以降から18年までの5年間の医療経営に関わる歴史的な動きを加筆しました。動きは予想外に大きく、ほぼ全項目にわたり内容を刷新しました。特に、団塊の世代すべてが後期高齢者となる25年を念頭に置いた、住み慣れた住宅や地域での療養を指す「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、地域を核とする病院の機能分化や在宅医療専門の診療所の創設、さらには介護福祉セクターとの連携などが日々進んでいます。それを受けて本書では、「地域包括ケアシ

ステム」の基盤となる「在宅医療のあゆみ」について新たに1項目を設け、詳述しました。

医療法に関しても、第6次以降の改定について加筆を行っています。医療機関の機能分化、在宅医療の推進、広告規制の強化、複数の医療機関を連携運営できる「地域医療連携推進法人」の新設に加え、医療事故調査制度や公認会計士による経営監査の実施など、医療法人における安全の強化と経営の透明性やガバナンスの確保が図られました。このほか、琉球大学以来となる2つの医学部の開学や再生

医療をはじめとする医療技術の進歩にも対応すべく、患者申出療養制度なども導入されました。国際化の面では、JCIやJMIPなど国際的に認証を受けた病院も数を増しています。こうした動きやその背景について、本書では新たな解説を加えています。

最後になりますが、歴史を学ぶことは、制度・政策の意義の理解や今後を展望する上での基礎となる知識や思考力の向上につながります。ぜひ本書を活用して、医療経営力の向上を図っていただきたいと思います。

《本協会後援》第3回全国介護福祉総合フェスティバル in 福岡

事前参加登録で入場料3,000円が無料(9/20まで)

国際化が進む日本の介護

— 国境を越えた介護文化の連携を目指して —

【日時】9月29日(土)、30日(日) 【会場】福岡県中小企業振興センター2F、3F (福岡市博多区吉塚本町9番15号)

主なプログラム

9月29日(土)

- 特別講演 [ペコロスの母に会いに行く]
 - ▶岡野雄一(「ペコロスの母に会いに行く」原作者)
- パネルディスカッション [介護×○○ 二刀流のすゝめ]
 - ▶コーディネーター:高瀬比左子(未来をつくるKaigoカフェ代表)
 - ▶パネリスト:大庭欣二(福岡福祉向上委員会代表)ほか

9月30日(日)

- 講演 [笑いで伝えるコミュニケーション技術]
 - ▶日向亭葵(おしゃべりセッションの会代表)
- パネルディスカッション [日本介護の国際化、介護産業の将来像]
 - ▶ファシリテーター:神内秀之介(社会福祉法人手稲ロータス会理事、Nlab代表、介護福祉経営士)
 - ▶パネリスト:梶正登(株式会社社十字代表取締役)ほか



講演、展示・体験等多彩なプログラムでお待ちしております!

※写真は前回開催時の会場風景

事務局 掲示板

第6回「医療経営士1級」資格認定試験 過去最多58人がエントリー

9月9日(日)に第一次試験を実施する第6回「医療経営士1級」資格認定試験に過去最多58人の方がエントリーしました。昨年6月の資格認定要件改正により医療機関の勤務経験がない方でも1級取得が可能になったことが、受験者増につながっているようです。1級資格取得者は現在54人。

第一次試験の合格者は、12月2日(日)実施の第二次試験に臨み、12月25日(火)には第6回1級合格者が発表されます。

2018年度試験および第7回札幌大会の ポスターを掲示していただける会員の方を募集!

2018年度「医療経営士」資格認定試験および第7回「全国医療経営士実践研究大会」札幌大会のポスターを掲示していただける会員の方を募集中です。ご希望の方は下記お申し込みメールアドレスに「医療経営士ポスター希望」と件名をつけ、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、希望するポスター、必要部数をご明記の上、ご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしております。



▶お申し込み

E-mail: info@jmmpa.jp

PICK UP 研究会

9/9 関東支部

合格者のつどい

医療経営士として知っておくべき 医療倫理とマネジメント

関東支部では、第24回「医療経営士3級」資格認定試験の合格者に、研究会活動を体験していただく機会として「合格者のつどい」を開催する。第24回3級試験合格者は参加費無料。

日常の診療に潜む倫理問題について考えることは、患者中心の医療の実現や医療専門職とのスムーズな連携につながる。東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野客員研究員の箕岡真子先生が、経営人材として知っておくべき医療倫理の基礎知識を解説する。

- 日時
9月9日(日)13:00~14:30
- 会場
日本医療企画ニッセン神田ビル
セミナールーム(東京都千代田区)
- 参加費(税込)
第24回3級試験合格者 無料/
会員1,000円/一般3,000円
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会関東支部
TEL:03-3256-2885(担当:湯本)

9/22 関西支部

関西支部合同研究会

甲友会の組織運営と今後の方向性

関西支部では、医療法人社団甲友会理事長で、関西支部理事の大村武久先生を講師に迎え、介護福祉経営士、栄養経営士を交えた合同研究会を開催する。

2018年度診療報酬・介護報酬同時改定から半年が経過した。医療経営の最前線ではどのような課題があるのか。医療法人社団甲友会が展開する次世代に向けた経営戦略とともに解説する。

- 日時
9月22日(土)14:00~17:00
- 会場
上田公認会計士事務所セミナールーム
(大阪府大阪市)
- 参加費(税込)
会員2,000円/一般:3,500円
※懇親会別途4,000円
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会関西支部
TEL:06-7660-1761(担当:喜津木)

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
9月8日(土)	関東	病院・地域を動かす経営人材になるための 石井ゼミ 第4回(全4回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
9月9日(日)	関東	合格者のつどい 「医療経営士として知っておくべき医療倫理とマネジメント」	箕岡真子氏(東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野客員研究員、箕岡医院院長)
9月15日(土)	東北	日本医療経営実践協会東北支部 設立記念講演・パーティー	村上正泰氏(山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座教授)
	九州	継続研修と議論で実力をつける 現場の経営力を高める 「藤井塾」第5回	藤井将志氏(特定医療法人谷田会谷田病院事務部長)
9月22日(土)	関西	関西支部合同研究会 甲友会の組織運営と今後の方向性	大村武久氏(医療法人社団甲友会理事長、日本医療経営実践協会関西支部理事)
9月29日(土)	東海	第13回静岡県東部医療経営研究会 「病院事務職のリーダー研修」	田中賢司氏(医療法人社団宏和会岡村記念病院事務部長)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

東北から
医療経営の
新たな道を
照らすー

日本医療経営実践協会東北支部 設立記念講演・パーティー

9月15日(土)
東北支部
いよいよ始動!

- 日時 9月15日(土)15:30~19:00
- 会場 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口8F
- 参加料 記念講演 …… 医療経営士:1,000円/一般:3,000円
(税込) パーティー …… 医療経営士:無料/一般:5,000円
- 主催 日本医療経営実践協会東北支部

- ご挨拶 支部長による就任挨拶
- 記念講演 15:30~17:00
診療報酬改定・地域医療構想を踏まえた
東北地域における医療機関経営と医療経営士の使命
村上正泰氏(山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座教授)
- パーティー 17:15~19:00 医療経営士の集い

【お問い合わせ】日本医療経営実践協会東北支部設立準備室(日本医療企画東北支社内)担当:三浦 ☎022-281-8536